

安 全 情 報

No 29 / 2016

信号待ち車両に対する強盗事件の連続発生について（注意喚起）

9月下旬、チャカオ市及びバルータ市内において、信号待ちをしていた車両に対し、バイクに乗車した犯人による強盗事件が、連続して3件発生しました。被害者は、いずれも日系人の方であり、怪我はなかったものの、けん銃で脅され携帯電話が奪われました。当国の治安情勢は、ベネズエラ史上最悪の状況であることから、外出の際は、細心の注意が必要です。

記

1 被害状況（被害者は、いずれも信号待ちで停車中）

(1) 1件目

ア 日時

9月24日（土）午後2時頃

イ 場所

チャカオ市チャカオ地区フランシスコ・デ・ミランダ通りセントロ・ペルー前の路上

ウ 状況

バイクに乗車した男女二人組から、けん銃でガラスを叩く等脅されて、携帯電話を奪われた。

(2) 2件目

ア 日時

9月26日（月）午後6時頃

イ 場所

バルータ市ラス・メルセデス地区プラサ・アルフレッド・サデル付近

ウ 状況

バイクに乗車した男から、けん銃を持っているような素振りで脅されたが、信号が変わり発進できたため難を逃れた。

(3) 3件目

ア 日時

9月27日（火）午後8時頃

イ 場所

バルータ市ラス・メルセデス地区パセオ・ラス・メルセデス付近

ウ 状況

バイクに乗車した男からけん銃で脅されて、携帯電話が奪われた。

2 注意事項

- (1) 比較的治安の良いチャカオ市やバルータ市内でも、昼夜問わず、強盗事件が発生しています。犯人はバイクに乗車しており、その多くでけん銃が使用されています。抵抗した場合、発砲される可能性が高いことから、絶対に抵抗しないようにして下さい。
- (2) 強盗被害に遭った場合、直ぐに現金等を差し出せるように、見せ金や古い携帯電話を携帯しておくことも有効です。
- (3) 車内でスマートフォンを操作していると標的にされるおそれがあります。また、犯人は、少しでもお金をもっていそうな外国人を狙う傾向にあることから、常に、車外から見られているという前提に立ち、目立つ行動は控えるようにして下さい。
- (4) 深夜帯に入ると、薬物常習者が街頭に出てきます。彼らは、その薬の影響から簡単に発砲したりするため、極めて危険です。深夜帯は、強盗の件数は減少傾向にあるものの、身体への危険度は昼間帯よりも高まることから、外出を控えるようお願い致します。